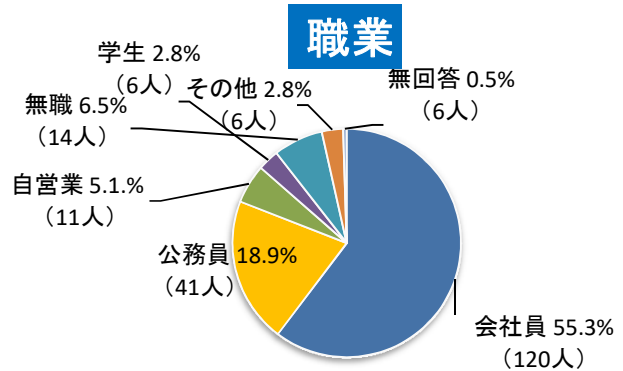
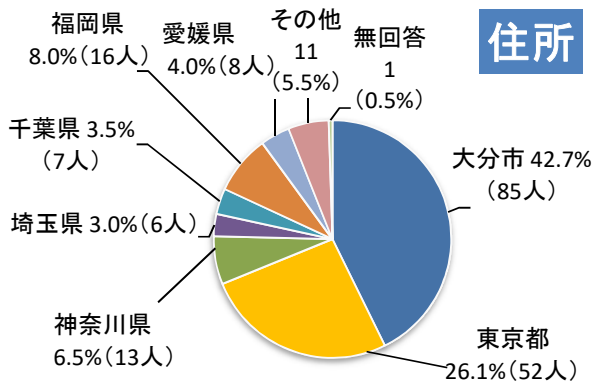
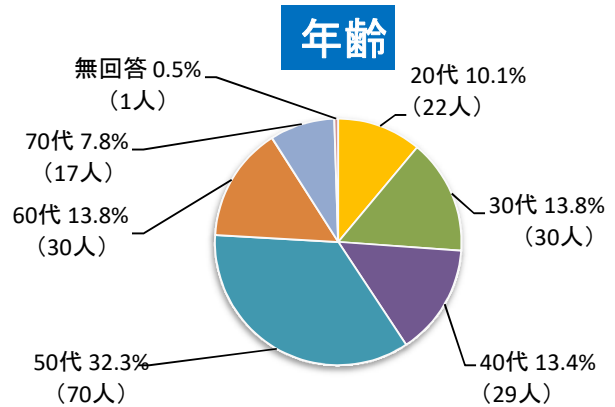
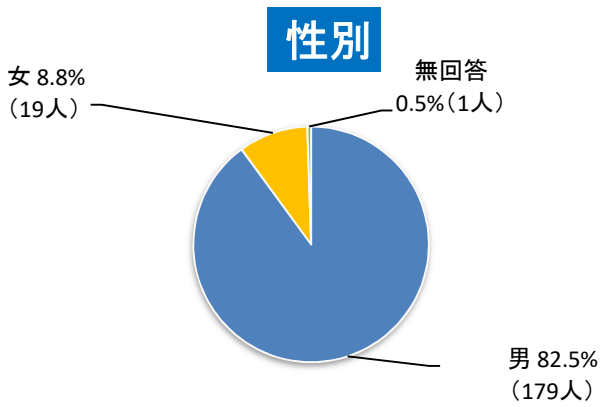


<R4.5.30(月)開催 豊予海峡ルート推進シンポジウム アンケート結果>

参加者数	301人	回答者数	199人	回答率	66.1%
(内訳) 東京会場	93人	東京会場	90人	東京会場	96.8%
大分サテライト会場	94人	大分サテライト会場	64人	大分サテライト会場	68.1%
WEB視聴	114人	WEB視聴	45人	WEB視聴	39.5%



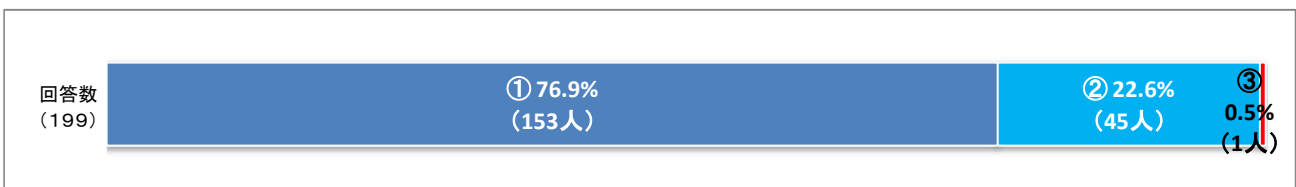
Q1 今回のシンポジウムの前から、豊予海峡ルートの構想があることを知っていましたか。

- ① (内容についても) よく知っていた ②知っていたが内容は知らなかった ③知らなかった



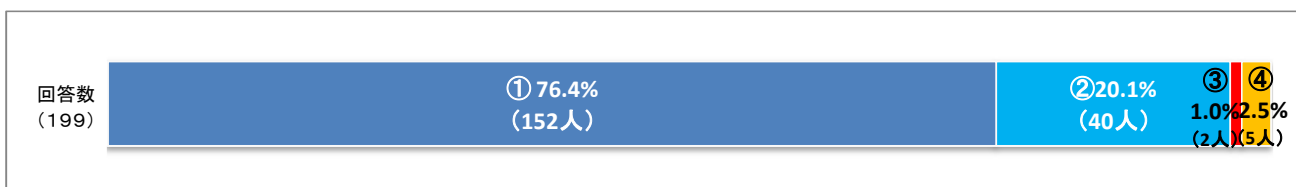
Q2 今回シンポジウムに参加され、豊予海峡ルートの意義・必要性が理解できましたか。

- ①よく理解できた ②ある程度理解できた ③理解できなかった



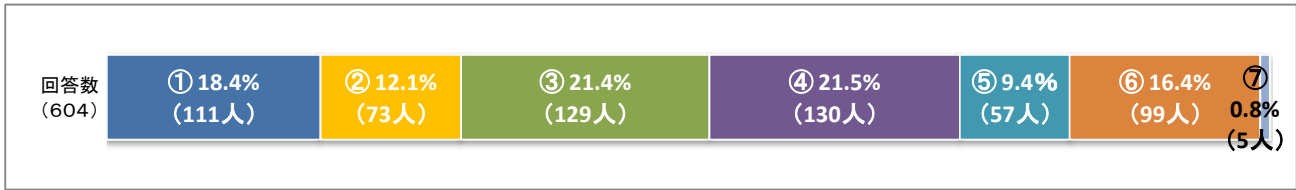
Q3 豊予海峡ルートについて、あなたはどのように思いますか。

- ①ぜひ進めるべき ②どちらかといえば進めるべき ③進める必要はない ④わからない



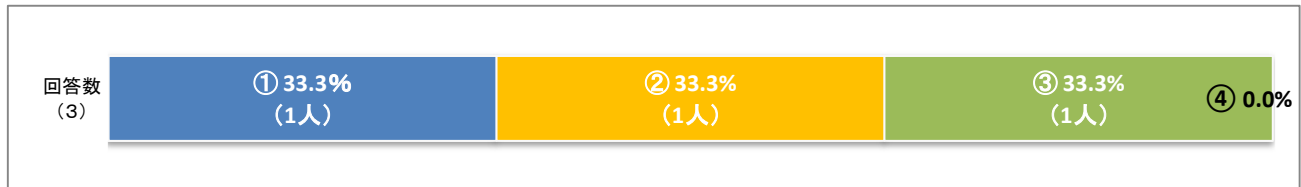
Q4 Q3で「①, ②」(進めるべき)とお答えした方にお伺いします。具体的な理由は何ですか。(複数回答可)

- ①日本全体の発展 ②移動時間の短縮 ③交流人口拡大による観光振興・経済活性化
④災害時の代替ルートの確保 ⑤企業立地のサプライチェーンの拡大 ⑥四国・九州などの魅力向上
⑦その他(※下記参照)



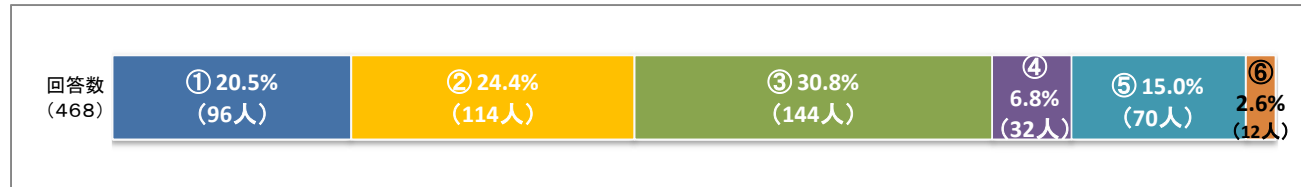
Q5 Q3で「③」(必要はない)とお答えした方にお伺いします。具体的な理由は何ですか。(複数回答可)

- ①多額の費用が必要 ②他に優先すべき事業がある(具体例:※下記参照)
③既存の交通機関で十分 ④その他



Q6 豊予海峡ルート実現に向けて、課題と思われるものは何ですか。(複数回答可)

- ①地域住民の機運醸成 ②必要性への理解 ③整備のための財源 ④施工技術の向上 ⑤周辺自治体の推進体制
⑥その他(※下記参照)



Q4 ⑦その他意見

- ・1～6の達成による総合的な見地から
- ・ビックプロジェクトの実行
- ・豊予海峡ルートのうち、鉄道部分に関して特に必要性を感じます。理由:新幹線及び在来線と地方空港・航空を組み合わせることで、全国の地方同士の交流を創り出していく必要があるため。地方同士の結びつきを図ると大都市に拠点を移さなくても地方でビジネスや仕事・生活できるようになり、大都市一極集中の是正につながる。
- ・次世代のため、唯一陸路で繋がっていない九州と四国を繋ぐべき。

Q5 ②他に優先すべき事業がある(具体例)

- ・まずは大分市の道路状況の改善

Q6 ⑥その他意見

- ・人口増加
- ・安全・安心なハード整備
- ・リーダーの高齢化
- ・鉄道と道路を一体的に建設することで建設・維持管理費を効率化すべき。一体整備出来る考え方や制度を創る。鉄道部分は、まず在来線をつなげ、後から新幹線を在来線と並列で造る、など、新規鉄道建設を積極的に建設出来る考え方や制度を提唱していく。そして、今後は「地方→大都市圏」よりも「地方→地方」間のつながりを創り出す考え方を全国的に共有し全国的に(鉄道も含めた)交通インフラ全般を造り直す基礎にしていく事
- ・国等の支援体制
- ・人口減少に関連した事項への課題
- ・整備可否判断のための事業評価の枠組み改善(B/C至上主義)及びインフラ整備のため公的投資に対する広い国民理解の醸成、高速鉄道整備に対するイコールフットディングの推進
- ・地元及び日本全体の機運醸成
- ・起爆剤となるような存在(指原莉乃さんのような芸能人やニータンのようなマスコット等)、市民・経済界・自治体が一致してインフラ整備の最優先と考えること。
- ・分かりやすい伝え方